

様式第 1 号

会 議 録

会議の名称	平成 2 9 年度第 2 回所沢市高齢者福祉計画推進会議
開催日時	平成 2 9 年 8 月 3 日(木)午後 3 時から午後 4 時 3 0 分まで
開催場所	所沢市役所 6 階 6 0 4 会議室
出席者の氏名	水野委員・米川委員・大島委員・浜島委員・岡村委員・高野澤委員・生澤委員・河野委員・山足委員・吉本委員・薦田委員・横溝委員・柴井委員・根本委員・篠崎委員・大島委員・大川委員・石原委員・瀧本委員
欠席者の氏名	斎藤委員
議 題	( 1 ) 平成 2 8 年度実績報告について ( 2 ) 第 7 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定について ( 3 ) 地域包括支援センターの運営状況について ( 4 ) 報告事項
会議資料	資料 1 - 1 第 6 期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 平成 2 8 年度実績報告 ( 介護保険事業 ) 資料 1 - 2 第 6 期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 平成 2 8 年度実績報告 ( 地域支援事業その他 ) 資 料 2 「第 7 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定について」 資 料 3 地域包括支援センターの運営状況について 報告資料 1 介護予防・日常生活支援総合事業事業者一覧 報告資料 2 地域密着型サービス事業者等の指定等について 報告資料 3 所沢市地域包括支援センターの自己評価票について そ の 他 会議次第 実態調査報告書抜粋資料 みんなのあんしん介護保険 介護サービス事業所ガイドブック ハートページ

担当部課名	福祉部 植村部長・北田次長 高齢者支援課（瀬能参事・新井主幹・築地主査・秋山主査・伊藤主査・坂田主任・宮川主任・松下主事） 介護保険課（井上課長・田畑主査・長浜主任） 健康推進部 保健医療課（前田課長） 健康づくり支援課（野上課長、森田主査）  事務局 福祉部高齢者支援課
-------	---

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p style="text-align: center;">開会</p> <p>委員長よりあいさつ</p> <p>稲津昌幸委員（所沢市自治連合会）の退任により、新たに横溝哲夫氏（所沢市自治連合会）を新委員として委嘱した旨が事務局より報告される。</p> <p>委員により会議の公開が承認され、傍聴人が入場する（5名）。</p>
事務局	<p><u>議題(1)平成28年度実績報告について</u> （資料1-1、資料1-2について説明を行う。）</p>
委員長	<p>質問等はあるか？</p>
委員	<p>資料1-1のP1、要介護4、5の実績値が計画推計値よりも低くなっている。今後、高齢者の増加に伴い増加されると思われる中、減った理由を知りたい。</p>
事務局	<p>計画推計値と比べると実績値は少ないが、過去からの推移で見ると人数は増加している。計画推計値との差が出た理由については、第6期計画作成時に、平成24、25年度の増加傾向を踏まえて、第6期の数値を推計したため、その当時の傾向が強く出ていると考えられる。</p>
委員	<p>資料1-1のP2、小規模多機能型居宅介護の利用数が伸び悩んでいるように見える。皆様のご意見を伺いたい。</p>
委員	<p>小規模多機能型居宅介護は、ケアマネジャーの担当が変わってしまうという特徴がある。また、サービス提供量が限られている等の地域的な理由もあるかと思う。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>小規模多機能型居宅介護は、山間部等の人口の少ない所の介護者向けに、有効に利用していただくために始まった介護保険サービスだと理解している。所沢市は資料1-1のP2、3を見て分かるように多くの介護保険サービスが充実しているため、小規模多機能型居宅介護に頼らなくても、ニーズにあった介護保険サービスが多く存在しており、小規模多機能型居宅介護の利用が少ないのではないかと。ケアマネジャーが変わるということも要因の一つだと思う。</p>
委員長	<p>所沢市のように介護保険サービスが整っている所ではあまり伸びないのではないかとという意見もあるが、市の計画推計値が高かったのではないかと？</p>
事務局	<p>小規模多機能型居宅介護は、介護保険制度設立から6年が経過してから創設された介護保険サービスであり、認知症状が出てしまった人や中度・重度の人でも在宅で生活を続けられるようにという目的でできた介護保険サービスである。多機能とは、訪問介護、通所介護を行い、必要であればショートステイも利用でき、いろいろなニーズに対して同じ職員が関わるので、認知症の利用者も不安状態になりにくい。また、小規模とは、一事業所当たりの定員数が少なく大空間の中で不安になりやすい認知症の人、落ち着いて過ごすことができ、社会情勢に合わせて創設された介護保険サービスである。そのため、他の介護保険サービスが整っているから小規模多機能型居宅介護が伸びないという判断はでき兼ねる。小規模多機能型居宅介護を上手く活用できる体制を考えなければと認識している。</p>
委員	<p>認知症の人の中には、一般的なデイサービスには馴染めず通えないという人もいる。</p> <p>一般的なデイサービスでは、送迎はするが家を出るまでの準備は行わない。小規模多機能型居宅介護であれば、職員が迎えに行き一緒に出掛ける準備をし、部屋の掃除もできる。ヘルパーとしての役割もあるので、帰りも食事の準備をしてから帰ることもできる。様々な介護保険サービスを組み合わせることが出来るため、利用者を総合的に支援することが出来る。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>しかし、事業者側からすると、24時間365日の対応が必要なので、夜中に呼び出されるなど、施設の近くに住んでいる人でないと対応ができず、なかなか圏域を広げられない等の理由もあるため伸びないのだと思う。また、月額報酬であり、月に何回利用しても同じ料金になるため事業者としては費用が掛かりやすく、利用者としては、利用しなくても同じ金額を支払わなければならないため、使いにくく利用が進まないという点もあると思う。</p>
委員	<p>ケアマネジャーの立場からすると、利用者の立場に立ち、本人が必要だと思えば、本人と家族に小規模多機能型居宅介護の説明をしている。小規模多機能型居宅介護は、市内に5か所しかなく他の地域密着型の通所介護等に比べると数が少ないと思う。</p>
委員	<p>資料1-1のP2、居宅療養管理指導とは、どのような基準で受けられるのか？居宅療養管理指導が増えている理由を聞きたい。</p>
事務局	<p>居宅療養管理指導とは、医師や歯科医師が、在宅で生活する人に療養上のアドバイスをした場合に算定できる介護保険サービスとなっている。要介護認定の制限はなく、要支援1から要介護5の人まで受けられる。このサービスが伸びている正確な理由は分析できていないが、自立支援に向けたケアプランの作成が進んでおり、早い段階でケアマネジャー等による医療面での注意喚起が進んでいるためではないかと考えている。</p>
委員	<p>看護師が訪問したり、薬剤師が薬を持って自宅に訪問し、飲み方を指導したりしても算定できるということが周知されてきたのではないか。</p>
委員	<p>安易に算定している結果、増加しているのではないか。</p>
委員長	<p>適切な利用を促すことはできるか？</p>
事務局	<p>市では、介護給付適正化事業に則り、医療と併用している所はないかの点検を行っている。事前に利用の制限を掛けるのは難し</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>いが、不適切な利用が広がらないように注意していきたい。</p> <p>資料1-2のP3、地域リハビリ交流会・失語症者のつどいについて、ボランティアを活用しているという話があったが活用の状況は？</p>
事務局	<p>4地区で開催しており、松井地区で開催回数12回、ボランティア延べ人数は181名、小手指地区11回275名、三ヶ島地区12回244名、並木地区11回129名である。</p>
委員	<p>資料1-2のP6、介護者の集いについて、開催回数61回、参加者数380人という実績値であるが参加者が少なく感じる。どのような現状か？</p>
委員	<p>三ヶ島地区で介護者の集いを開催しているが、参加者の声として、介護保険サービス利用者を預けて出席するため、預けている時間が決まっていて参加しにくいという話を聞く。介護者の気持ちになり、予定を立てていただければと思う。</p>
事務局	<p>介護者の集いは、地域包括支援センターごとに4回以上の実施をお願いしている。住宅が密集している地区には地域サロンがあり、介護者の集いに声かけをしても人数が集まりにくいと聞いている。また、規模が大き過ぎてもやりにくいという話が運営者側からある。皆で集まり愚痴を言ったり、話をしたりするような場所なので、10人を超えると話しにくい、少人数のほうがやりやすいという声もある。</p>
委員	<p>資料1-2のP9、地域包括支援センターの総合相談支援に、虐待対応・認知症支援の項目があるが、どういった相談内容となるのか？</p>
事務局	<p>虐待対応・認知症支援については延べ件数になっており、困難なケースは対応件数が多くなる。虐待対応、認知症支援が必要な人は要介護認定の割合が高い傾向がある。また、家族関係との対応が難しい場合にはケアマネジャーから地域包括支援センターに</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>相談があり対応に当たっている。市と連携して施設への措置入所や成年後見人制度の申し立てにつなげるケースもある。</p>
委員	<p>資料1-2のP8、シルバー人材センターの振興について、どのような運営支援を行っているのか。</p>
事務局	<p>シルバー人材センターについては、国の要綱、執行方針が示されており、国から補助金の支援を受けているが、それに伴い市でも相応の負担をするという決まりがあるため、一般会計から補助金を支出している。</p>
委員	<p>資料1-2のP3、介護予防サポーター養成・フォローアップ講座について、介護予防サポーターの養成数が71人とあるが、事業費を一人当たりで換算するとかなりの費用がかかっている。養成後、実際にどのような活動をしているのか？</p>
事務局	<p>とこしゃん体操など、各地域での介護予防活動等の担い手育成のために開始した事業である。平成28年度に「トコロん元気百歳体操」という新たな取り組みを始め、平成28年度には9か所立ち上がった。百歳体操を指導できるようなボランティアも育成している。</p>
委員	<p>資料1-2のP5、要援護高齢者調査について、調査件数が49,810件とあるが、高齢者数からすると調査件数が少なく感じる。</p>
事務局	<p>市内の対象となる高齢者は約8万人だが、調査件数は世帯件数となる。地区に応じて民生委員の一人当たりの件数が異なるので、多く感じる地区、少なく感じる地区があると思う。</p>
委員	<p>地区によっては担当不在の区域があり、民生委員の理事会でも欠員について問題にしているが、欠員があるという現実を認識していただきたい。</p>
委員長	<p>議題1について、皆さんの意見を踏まえ、事務局で引き続き検</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>討して欲しい。</p> <p><u>議題（２）第７期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定について</u></p> <p>（第１回高齢者福祉計画推進会議において、委員からの質問への回答を持ち越した件について、事務局より回答した。）</p> <p>（施設入所者の自己負担割合（１割と２割）の違いによる負担の感じ方について）</p>
事務局	<p>（資料２について説明を行う。）</p>
委員長	<p>何か質問等はあるか？</p>
委員	<p>所沢市の総合計画や地域福祉計画と整合性が図れていると市民も分かりやすくなると思うが、基本理念や基本目標等について、まだ変更は可能であるか。</p>
事務局	<p>推進会議での意見を踏まえ再度検討する。今回、基本の考え方を示したが、違う考え方や視点があればご意見を伺いたい。</p>
委員	<p>この場でなくても意見はしてもいいか。</p>
事務局	<p>１０月に開催予定の第３回推進会議では、計画の素々案を示す予定である。大きな変更であれば早めにご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>在宅医療は、病院に入院せずに自宅で病院と同等の医療を受けられると捉えている。また、医療費の抑制にもつながると聞いた。各論２の「住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるための取組の促進」という項目に当たると思うので、在宅医療の記載に力を入れてもらいたい。</p>
事務局	<p>ご意見を参考にさせていただきます。</p>
委員	<p>高齢者の施策については、介護保険サービスに大きなウエイトがかかっており、福祉的要素が少し弱いように感じる。福祉の対</p>



発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	象になる高齢者は少数であるが、市としても、介護の視点だけでなく福祉の視点を盛り込んでほしい。
事務局	ご意見を参考にさせていただきます。
委員	第7期計画において、重点的に力を入れていく項目について聞きたい。
事務局	資料2、第7期介護保険事業計画基本指針の構成より、第1の一、「地域包括ケアシステムの基本的理念」として5項目、第2の三の1、「地域包括ケアシステム構築のため重点的に取り組むことが必要な事項」として5項目を国で示している。高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活を続けられるよう地域包括ケアシステムの構築が目的なので、国から示された視点をさらに深化、推進していくことが第7期計画の重点項目となる。
委員	基本理念に「共に生き」「共に暮らす」等のキーワードを入れて欲しい。
委員長	議題2について、皆さんの意見を踏まえ、事務局で引き続き検討して欲しい。
事務局	<u>議題（3）地域包括支援センターの運営状況について</u> (資料3について説明を行う。)
委員長	何か質問等はあるか？
委員	地域包括支援センターの人員は充足しているのか。
事務局	欠員が生じている地域包括支援センターもある。
委員	地域包括支援センターの運営状況についての議題であるので、そのような点も知らせてほしい。
事務局	ご意見を参考にさせていただきます。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>議題2について、皆さんの意見を踏まえ、事務局で検討して欲しい。</p> <p><u>(4) 報告事項について</u></p> <p><u>介護予防・日常生活支援総合事業事業者一覧について</u> 平成29年4月1日以降、新規で指定を行った事業所等について報告を行った。</p> <p><u>地域密着型サービス事業者の指定等について</u> 平成29年8月1日付けで指定を行った事業所等について報告を行った。</p> <p><u>地域包括支援センターの評価について</u> 本年9月に実施する平成29年度分の地域包括支援センターの評価について、自己評価票（案）を用いて評価を実施する旨の報告を行った。</p> <p><u>その他</u> 特になし</p> <p>本日の議事については、すべて了承される。 閉会にあたり、副委員長よりあいさつがある。</p> <p style="text-align: center;">閉会</p>
<p>《確認欄》</p> <p>平成29年度第2回所沢市高齢者福祉計画推進会議の会議録として承認します。</p> <p style="text-align: center;">委員長                      水野 康司</p>	